

令和 5 年 9 月

富山市議会定例会

市長提案理由説明要旨

令和5年9月市議会定例会の開会に当たり、提出いたしました案件の概要等について申し上げます。

(はじめに)

7月12日及び13日の記録的な大雨により、八尾地域や婦中地域、山田地域をはじめ、市内各所において床上や床下浸水、土砂崩れが発生し、多くの方が被災されました。

被災された市民の皆様には、心よりお見舞いを申し上げます。

この大雨により、市道や農地・農業用施設なども広範囲にわたり被災し、早急な復旧が必要となったことから、その経費について、7月24日及び8月9日に補正予算の専決処分を行い、迅速な災害復旧に取り組んでいるところであります。

今後とも、頻発化・激甚化している自然災害から市民の生命・暮らしを守るために、安全安心なまちづくりをより一層推進してまいりたいと考えています。

また、6月から8月にかけて、全国各地で相次いだ大雨や台風により、河川の氾濫や浸水、土砂災害などが発生し、多くの方が被災されました。

被災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、被災した地域の一刻も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

(最近の経済情勢について)

次に、最近の経済情勢について申し上げます。

国の月例経済報告によれば、個人消費や設備投資は持ち直しており、雇用情勢は改善の動きがみられるなど、我が国の景気は、緩やかに回復しているとされております。

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されますが、世界的な金融引き締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっているとされております。

また、富山県の経済情勢につきましては、個人消費は持ち直しており、設備投資は増加と、全体として、景気は持ち直しているとされております。

(来年度予算編成について)

次に、来年度予算編成に向けた考え方について申し上げます。

国は、本年6月に「経済財政運営と改革の基本方針2023」を策定され、新しい資本主義の下、成長と分配の好循環を目指すとともに、少子化のトレンドを反転させるべく、少子化対策・こども政策の抜本的な強化を図ることとされております。

この方針を受け、令和6年度予算の概算要求基準では、構造的賃上

げの実現、少子化対策など「新しい資本主義」の加速等に対応するため、「重要政策推進枠」を設けることとされています。

また、物価高騰対策等を含め幅広く事項のみの要求が認められるとともに、こども・子育て政策の強化については、予算編成過程において検討することとされているなど、今後の国の予算編成の動向に注視していく必要があります。

一方、本市の令和6年度予算を取り巻く財政環境については、依然として、大変厳しいものになると予測しております。

まず、歳入については、市税では、固定資産税は、評価替えにより大きな伸びが期待できない一方で、市民税が、個人所得の増加などにより、増収が見込まれることから、市税全体としては、本年度の当初予算を上回るものと見込んでおります。

また、臨時財政対策債を含めた実質的な地方交付税については、市税の増収を見込んでいることにより減収となるものの、一般財源総額では、本年度当初予算を上回るものと見込んでおります。

次に、歳出では、人件費や扶助費等の増加が見込まれるとともに、引き続き、第2次総合計画をはじめ各種計画に位置づけた事業を着実に進める必要があります。

具体的には、道路・橋りょうなどの社会資本や公共施設の長寿命化対策に加え、コンパクトなまちづくりの深化や、スマートシティの推

進、喫緊の課題である少子化対策、防災・減災対策等の安全安心なまちづくりの推進、さらには、法律に基づく自治体情報システムの標準化移行への対応など、大きな財政需要が見込まれ、極めて厳しい予算編成になるものと考えております。

こうしたことから、新年度予算編成に当たりましては、国の動向や、物価高騰などが地域経済に及ぼす影響等を十分に見極めながら、予算の重点的・効率的な配分に努めてまいりたいと考えております。

(提出案件について)

次に、提出いたしました案件について、その概要を申し上げます。

(1 予算案件について)

予算案件については、国・県の追加承認に伴うものなどの補正を行うものであり、一般会計では39億8,900万余円を追加するものであります。

また、特別会計では介護保険事業などにおいて14億5,700万余円を追加するものであります。

次に、歳出予算の主な内容について申し上げます。

(① 大雨に伴う災害復旧事業)

まず、5月から7月の大雨に伴う災害復旧事業として、被災した市道、農業用施設等の復旧に要する経費や、7月12日から13日の大雨により被災した地域で、災害復旧活動を行った町内会に対し、活動支援金を支給する経費などを計上しております。

(② 国・県の追加承認に伴うもの)

次に、国・県の追加承認に伴うものとして、障害福祉サービス事業所等へのICT機器の導入支援に要する経費などを計上しております。

(③ その他の事業)

その他の事業といたしましては、小中学生のインフルエンザ予防接種費用の助成に要する経費や、決算剰余金の一部を財政調整基金へ積み立てる経費などを計上しております。

(④ 特別会計)

特別会計では、介護保険事業特別会計において、前年度未処分剰余金を基金に積み立てるものなど、企業団地造成事業特別会計において、呉羽南部企業団地の土地売払いに伴う繰出金など、牛岳温泉スキー場

事業特別会計において、キャッシュレス決済導入などに要する経費を計上しております。

以上が歳出のあらましですが、これらに要する財源としては、一般会計では、国・県支出金や地方債及び繰越金など、特別会計では、財産収入や繰越金などを充てております。

次に、債務負担行為について申し上げます。

一般会計では、保育所や学校の給食調理等の業務委託など 12 件について、水道事業会計では、流杉浄水場の運転管理業務委託について、それぞれ限度額を設定するものであります。

## (2 その他の案件)

次に、予算以外の案件について申し上げます。

まず、条例案件については、「富山市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例」を制定するものなど 6 件であります。

契約案件については、小見橋 1 号仮橋設置工事の請負契約を締結するもの 1 件であります。

その他の案件については、財産の無償譲渡の件として、婦中町分田

の土地を譲渡するものなど6件であります。

承認案件については、大雨被害に係る補正予算の専決処分について承認を求めるもの3件であります。

報告案件については、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定に基づき、令和4年度決算における健全化判断比率及び資金不足比率について、監査委員の意見を付して報告するものなど5件であります。

また、決算の認定については、令和4年度一般・特別・企業の各会計について、監査委員の審査を経ましたので、議会の認定を求めるものであります。

以上が、今回提出いたしました案件の概要であります。ご審議の上、議決を賜りますよう、お願い申し上げます。